

開催日時	平成 28 年 8 月 21 日（日） 14:00 ～ 16:30
科目名	新規性の問題—化学発明を念頭に—
講師	吉田 広志（北海道大学大学院法学研究科教授）
内 容	同一の物について、従来と異なる用途を特定することで用途発明として特許を取得できることがある。しかし用途発明については、特許された場合、従来製品の使用が実質的に妨げられてしまうのではないか、という懸念が残る。本講義では、まず実施の場面に着目することで、用途発明の【新規性】を改めて検討するものである。